

## 地域生活・高齢期支援部会活動報告書 (豊玉障害者地域生活支援センター)

### 1 専門部会の検討テーマ・目的

障害者の高齢化や重度化、「親亡き後」に備えて、障害者等の生活を地域全体で支えるための支援について検討する。

- 障害者の地域生活を支えるための具体的な取組や必要な施策、関係機関の有機的連携に関する事
- 地域生活支援拠点の整備に関する事
- 高齢期を迎える障害者への支援に関する課題の抽出、整理、具体的な対応に関する事

### 2 専門部会の開催状況と主な協議内容

回	年月日	主な協議内容
第1回	平成28年10月3日	<p><u>高齢期に支援につなげるための、障害者のライフステージに合わせた支援について検討</u></p> <p>【主な内容】（グループワークの実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じて活用できる資源や制度について（制度・相談・支援・余暇活動等）</li> <li>・ライフステージにおける地域課題の抽出、整理について</li> </ul>
第2回	平成28年10月24日	<p><u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援拠点の整備に係る国の方針について</li> <li>・区の現状および整備の方向性、地域の課題について</li> </ul>
第3回	平成29年2月16日	<p><u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の高齢化や一人暮らしにおける支援等について</li> <li>・多様な障害特性に対応できる体験の場・機能に係る課題の抽出、整理について</li> </ul>
第4回	平成29年5月25日	<p><u>第五期障害福祉計画・第一期障害児福祉計画について意見交換</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービス、就労支援、精神障害者の支援等について</li> </ul> <p><u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立施設を中心とした地域生活支援拠点の面的整備の構築について</li> <li>・コーディネート機能や連携について</li> </ul>
第5回	平成29年10月19日	<p><u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立施設を中心とした地域生活支援拠点の面的整備の構築について</li> <li>・相談支援の充実、体験の機会、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくりについて</li> </ul> <p><u>高齢期支援の課題や方策について協議</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/15『練馬地域ケア圏域会議』においての高齢者分野の関係者との事例検討から捉えた高齢期支援の課題や方策について</li> </ul>

第6回	平成30年2月15日	<u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u> <b>【主な内容】</b> ・意見のまとめ <u>高齢期支援の課題や方策について協議</u> <b>【主な内容】</b> ・高齢期支援の課題や方策について ・次年度の地域生活・高齢期支援部会の方向性について
第7回	平成30年6月14日	<u>高齢期支援の課題や方策について協議</u> <b>【主な内容】</b> ・高齢期を迎える障害者の支援や関わりが効果的に行われた事例について（共有と検証） ・事例の共有を通じた効果的な支援のポイントについて
第8回	平成30年10月11日	<u>第4期練馬区障害者地域自立支援協議会活動のまとめについて協議</u> <b>【主な内容】</b> ・活動報告書（案）について、現状・課題・解決に向けた取組について ・第5期への引き継ぎおよび提案事項等について
第9回	平成31年1月24日	<u>第4期練馬区障害者地域自立支援協議会活動のまとめについて協議</u> <b>【主な内容】</b> ・専門部会の協議の中で見えてきた課題等について ・第5期への引き継ぎおよび提案事項等について

### 3 専門部会の協議の中で見えてきた課題等

(1) 高齢期の福祉サービス・介護サービス等の情報について	
現状・課題	○高齢期を迎えるにあたり、地域で相談できる場や情報を得るための手段が分からない人が多い。潜在的なハイリスク家庭に情報が届かず、SOSを出せない状況がある。 ○福祉人材が不足し、研修に行く時間が持てない。
現状・課題に対する意見	○仲間づくりが大切、フォーマル・インフォーマルのネットワークを持つといい。仲間・関係者等の人や情報、社会資源等の点を増やす取組が大事である。 ○日頃から地域の情報を捉えて、介護や障害の分野を超えた多様な関係者とのつながりを持つことが必要である。 ○障害者福祉関係者が高齢分野につなげるための知識を持ち、支援することが必要である。
解決に向けた取組	○他分野の関係者等とも顔の見える関係を築いていくことが、高齢期支援に円滑につなげるための一歩である。地域ケア圏域会議や地域ケア個別会議等に積極的に参加しながら関係を築き、切れ目なく高齢者サービスへの支援につなげる。 ○練馬障害福祉人材育成・研修センター等の研修や勉強会等を受講し、高齢分野の制度やサービスに関する情報や知識を修得する。

(2) 高齢・障害の支援の連携について	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者支援に携わる人と主に障害者を支援している人では、課題になるところの視点に相違がある。</li> <li>○福祉職の人材が不足している。知識や情報の不足もみられる。</li> <li>○障害や疾病の正しい理解が浸透していないため、支援の不安やジレンマがある。</li> </ul>
現状・課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢化等に対応できるような日中活動の場があるといい。</li> <li>○障害者が高齢になる移行期には、障害分野だけでなく介護保険等を含めた全体的なコーディネートが必要である。</li> <li>○障害者と高齢者の両方の支援ができる事業所が増えることが望まれる。</li> <li>○一人の利用者に事業所一所ではなく、複数事業所が関われる体制ができることが望まれる。</li> <li>○相談支援専門員と介護保険ケアマネジャー、複数の事業所同士、医療との連携など、チーム支援が必要である。</li> <li>○リスクが想定できる家庭には、緊急時や本人・家族の体調悪化等の変化に備えたクライシスプランを作り、早くから会議等で協議していくことが大切である。</li> </ul>
解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢の障害者も通所できる施設の検討を行う。</li> <li>○高齢・障害分野の支援者が、日頃から継続的に具体的な事例を通して関わり合うことができる環境を作る（地域包括支援センターの会議等への参加）。</li> <li>○障害福祉サービス提供において、一人の利用者に複数の事業所が関わるサービス等利用計画を作成するなど、人材不足への対応や事業所同士の協力による支援力向上を図る。</li> <li>○相互に障害や特性を理解し合える具体的・実践的な講座や研修を実施し、参加できる環境を作る（研修機関等に提案）。</li> <li>○地域包括支援センターと相談支援事業所等が連携し、事業所同士がよりつながる環境をつくる。</li> </ul>

(3) 地域での関わり・つながりについて	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報保護の意識が高まっていることもあり、隣人のこともよく分からないような世の中になっている。</li> <li>○地域ケア圏域会議において、「障害のある方への接し方が分からない」という意見が聞かれた。</li> </ul>
現状・課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「おせっかい」のメリット・デメリットはあるが、近所や地域でのたすけあいが必要である。日常的に地域との関わりが必要である。</li> </ul>
解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域は「つなぎ」の役割があり、日頃からの関わりが重層的な支援につながるため、婦人会・老人会・防災訓練等の地域の集まりに、障害者が積極的に出ていける環境を作る。</li> <li>○地域でのセーフティネットづくりや気づく関係づくりを構築するために、モデル事例を積み重ねながら「できること」から始める。</li> <li>○当事者活動、親の会、委託相談、専門相談等を充実していく。</li> </ul>

#### 4 第5期への引継ぎおよび提案事項等

高齢期を迎える障害者・家族への支援の具体的な取組や必要な施策、関係機関の有機的連携について協議・検討する。

- 障害特性や高齢化など、それぞれの状況に合った支援が受けられるよう、障害・高齢・医療等が連携し、情報共有を通じて相互に理解するチーム支援の仕組みづくりに向けた検討
- 高齢期を迎える障害者や家族への支援の具体的な事例の積み重ね、モデル事例や緊急時に備えたクライシスプランの検討